

見
約
要

【分科会のテーマに関するもの】

○レイアウト

・地域福祉課は、窓口がせり出している、いすも置いてあるなど廊下が狭く、障害のある方や車いすの方も多いので、カウンターの配置を50cmくらい奥にやるのが理想だと思う。でも、それだと職員が歩きにくく窮屈になる、現状を見ると致し方ない面もある。あと、カウンターが前に出ていると、市民の動線が蛇行してしまうのも気になる。

・課に物を納品した時に置く場所が狭い、もう少し整理整頓が必要である。

・現庁舎が昭和49年に建ったときには、部屋の間仕切りもなく、もともとフリーの構造を想定して建てている可能性がある。市役所は、課・課単位に仕事をしているので、すべてオープンにしてしまうと、職員も戸惑うかもしれない。テレビを見ていると、新しい企業は、フリーのスペース、朝出勤して仕事を持って好きな場所に移動して、そこで仕事をするというのを見る。このスタイルで行政の職員は慣れるのかなと思う、若い方から年配の方がいるので、年配の方は慣れにくいかもしれない。

・人事異動の面からは、机の移動はなるべくしないで、人の移動だけで対応できるようにしてほしい。現状は机ごと移動しているので、それをなるべく無くせれば。個人の荷物が増えてきているので、その解消も必要になる。紙ベースではなくて電子化が必要になってくる。

・職員の中にも女性職員が増えてきた。女性更衣室やトイレはどうか、そういったところは女性の意見も聞かないといけない。

・他の自治体で議員専用のエレベーターが問題になった。分離も良いが、逆に特別にスペースを作ると、贅沢だと言われてしまう。

・現況、市民の利用が多い部署は1階、一部2階にある。それをもっと集約した方がよいと思う。職員の中の意見でも税務課を1階にという意見もある。色々な意見を集めてベストだと思うものにしたいとは思いますが、消防との兼ね合いもある。双方のレイアウトが大変で、コストもかかってくる。レイアウトは、結論を出すのが非常に難しい。

・役所にフリースペースが必要かどうかは疑問。おもちゃ開発業者等なら色々な発想が出ていいかもしれないが、組織によって向いている、向いてないがある。銀行もそうだが、行政の仕事には向かないのではないかと。悪意のある人もいる中で、行政が性善説にたって、進めていくのは向かないと思う。オープンなスペースではあっても、仕事の内容により偏りは出る。行政の仕事という面では、オープンスペースは向かないと思う。逆に市民の人もどこに行っているのか、戸惑う部分がでてくる。

	<p>○セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none">・窓口の個人情報保護が徹底されていないと思う。(見ようと思えば) 隣の人が何の申請をしているのかが見える。どこの役所もオープンで開けた窓口になっている。県庁のように部署ごとにドアで仕切っているのもあるが、そこまでされると受け入れられていない気がする。個人の手続きをする窓口では、プライバシーの問題があるので、場所によって仕切りか何かで分ける必要がある。でも、あまりパーテーション、ロッカー等で仕切ってしまうと、機構改革等で来年からこうしようとなったときに壁を取り払わないと対応できないところが出てくると、それはそれで問題である。窓口と窓口を仕切るか、間隔を設けるかのどちらかとなる。窓口に来る人の中には悪意がある人もいるので、行政という観点からもあまり柔らかすぎてもいけない。やはり、一番大事なのは個人の情報を保護すること。・セキュリティを高めれば高めるほど高コストになる。その折り合いをどう詰めていくか。 <p>○会議・ミーティングスペース</p> <ul style="list-style-type: none">・市役所のフリーな会議室を市民にも開放してもらえるとありがたい。こういった別館のような部屋なら使いやすい面はある、逆に4階とかなら行きにくい。 <p>○ライフサイクルコストの縮減</p> <ul style="list-style-type: none">・主に光熱水費が一番のランニングコストになる。それを抑えられる設計にしないと。ある事業所に行くと、個人の机の下に吹き出し口があって、そこから涼しい風が入ってくるものもある。室内は暑いが自分の席にいる分には涼しい。市民の面から言うと、夏場庁舎に入って銀行のように「涼しい」というのが良い。その裏で銀行員がカーディガンを着ているのを見て、もったいないとは思いますが、市役所は、確かに暑い。空調設備等の設備投資やランニングコストは設計当初から考えておかないと、後から追加するのだとコストがかかる。特定の窓口で市民が待っている所は涼しくして、逆に3階の廊下はあまり涼しくなくてもよい。打ち合わせが普通にできる程度であれば。・エコなので、率先してやるという意味では多少暑い程度がちょうどよい。・作った最初的时候は信じて疑わないので目立たなくても、2～3年後に何でこんなのを作ったのとならないようにしないと。
--	--

【他の分科会のテーマに関するもの】

○多目的スペース

・要人を職員が出迎えをしているときは、市民が正面から入りにくい。「すみません、すみません」と言って脇を通ることになり市民の動線がさえぎられる。

○飲食スペース

・ロビーを待ち合わせ場所に使うことがある。5～6人だと使わないが、2～3人の待ち合わせなら、「市役所のロビーで」ということはある。市民なら一番分かりやすい場所なので。15分や20分の打ち合わせに使うことはある。

・地下の食堂は暗い。昼ごはんのときはまだ明るくて良いが、2時、3時に行くと暗い。市役所に限らず、看護大学、福井大学のほか、いろいろな企業が食堂をオープンにしているが、他の施設に入って食事するのは気が引ける面がある。市役所だけでなく食事をするのは入りづらい。

・例えば、展望レストランのようなものであれば、市民の方も利用しやすくなるのではないか。展望台、明るい、リーズナブルな値段でおいしいとなれば人は来る。本当に庁舎にレストランを入れるにしても、入れ方に問題がなければ何か入れてよいと思う。

・都会に行くと、普通に庁舎の中にコンビニが入っている。周りのコンビニから反対意見が出るかもしれない。

・リラ・ポートを建てる时候にも宿泊施設を建てようと言ったときに、市内の宿泊業者から圧迫すると話があった。その時にそうじゃない、敦賀市を発展させるために、そういうものも必要だと市役所が率先しているべきことは言わないといけない。言いにくい部分があるかもしれないが、市民としてそこはおかしいと思う。

○ワンストップ窓口

・ワンストップというのであれば、合同庁舎や嶺南振興局、外部団体の窓口を作るとか集約をして、縦（高層階）に延ばせば、展望台もできるし。人口減少で大事になってくるのは、敦賀市以上に美浜以西の人口は減少傾向にある。敦賀の存在が嫌でも相対的に浮き上がってくる。将来的に嶺南中核都市となるかもしれない、その時に嶺南振興局の機能も集約できるようにしないと。新幹線も小浜を通りますが、小浜に中心が移ることはないとは思いますが、地の利、地政学的に明らかに敦賀市が重要となる。そのときに庁舎機能が果たせるのか。

○議場・傍聴席

	<p>・市民の感覚では、議事堂はある程度質素にしないとイケない。開かれた議会ということを考えても、議会だけに議事堂を利用できないとなるとコストがかかってくる。議会が無い時に他に利用するなど考えないとイケないかもしれない。建てられた当時は体の不自由な人のことを配慮していなかったのかもしれないが、階段があったり、奥まったところがあったりするの、開かれた議会とは言えない気がするの、改善点はあると思う。議員のなり手の問題にもなるが、市議会は日中するので、働いている人は中々議員になりにくい。それを開かれた議会にしていこうとすると。今日の会議にしても夜間にしたのは、働いている方がいるので日中は避けたのではないかと思う。一般のサラリーマンの方も議員になれるような形にしていかないと。前回の見学で、議事堂、委員会室を初めて見て、こんな立派な部屋があるのかという方が多くいた。可能ならば普段も調整して使っていきたいというルールを作る必要がある。議会の方もこの期間は絶対に使わないように設定するなど、うまく利用できれば。国会等を見ている、部屋が必要なのは理解できるが。役所のロビーで中継テレビを見られるのもいいが、一日中おられても困るかもしれない。どこかでガラス張りの議会が話題になったが、本当にガラス張りにすると、清掃面のコストもかかってくる。</p> <p>○キッズスペース・授乳室</p> <p>・子どもをキッズスペースに預けてとかよく聞く、子どもが小さいときは奥さんが行けないので、自分が手続きに来ていた。そういったサービスがあれば、自分は仕事に集中して、奥さんが手続きにも来ることができた。使う側の細かい要望を言えば、そういった意見も出てくる。</p> <p>・キッズスペースも考えているという発想は良いが、子どもの対応を職員では出来ない、そうすると外部委託になって金額がかかる。サービス向上をすると、コストがかかる。市民にいい顔をしてもうまくいかない面もある。</p> <p>○駐車場</p> <p>・荷物搬入のときに駐車場の位置がスロープに近いところに停められればよいが、常に空いているとは限らない。荷物が多いうきに車を付けられない、駐車場の舗装・1階のタイルがガタガタで運びづらい面はある。</p>
--	---